

の変化に対応するための骨太な、これからの札幌市を担う子供たちを育てていくためには、子供の発想を大切にしながら健全育成の再構築が極めて大切であると考えます。

周りの環境の変化が大きいこれらの子供たちに、今後どのような観点から健全育成を図ろうと考えているのか伺いたい。

答 本市においては、平成九年度に策定した「札幌市青少年育成計画」に基づき、少年団体の育成や子供をはぐくむ地域活動の促進・支援を通して、青少年の健全育成に取り組んできた。

今後については、少子化の急激な進行の中で青少年を取り巻く環境も大きく変化しており、思いやりや、集団の中で生きる力が求められている。そこで、平成十六年度中に改訂を予定している育成計画の策定に当たっても、子供たちの夢を自分たちで実現できるように、子供たちの参画を得ながら、さまざまな意見を取り入れた施策の推進を図っていくことが必要と考えている。

環境教育の推進

問 本市では「環境教育・学

習基本方針」、「環境教育・学習事業計画」に基づいて、総合的、計画的に事業が実施されている。

しかし、地球温暖化の主な原因物質である二酸化炭素の排出量は年々増加傾向にあり、その原因が市民のライフスタイルにあることを考えると、ますます地球規模の視点を持った環境教育の推進が求められていると痛切に感じる。

今後、地球環境保全に向けた環境教育をどのように進めていく考えか伺いたい。

また、平成十五年の秋に開設が予定されている「環境プラザ（仮称）」の機能に、地球環境に関する教育学習事業が盛り込まれるのかどうか伺いたい。

答 これまでも、総合環境講座の開催をはじめ、環境教育に関するいろいろな取り組みを行ってきた。地球環境を保全していく上では、われわれが日常生活の中で行うごみ減量や省エネ行動、企業活動におけるさまざまな環境保全の取り組みなどを、具体的に進めていくことが特に重要であると認識している。

従って、今後も、今おかれている環境の状況や、われわれが取り組むべき事柄について、より正しく理解できるような環境教育の内容について検討し、取り組みを推進していきたいと考えている。また、環境プラザでは、環境教育・学習事業を主要事業と考えており、地球環境問題についても、市民、事業者、学校と連携した取り組みを進めていきたい。

障害児教育基本計画

また、この計画では、乳幼児期から学校卒業後までを見通し、ほかの行政分野と連携しながら、障害者施策全体の体系の中で教育を展開することが大切であることから、札幌市障害者保健福祉計画との関連も十分に図っていきたいと考えている。

問 本市は今年度、健常者と障害者が分け隔てなく生活できる社会を目指すノーモラライゼーション理念に基づく障害児教育を推進するとして、障害児教育基本計画の策定作業に取り組んでいる。この計画策定に向けて、本市の障害児教育に対する基本的な考え方を示してほしい。

また、現在作成している札幌市障害者保健福祉計画と、この基本計画の関連性をどのように持たせていくのか、見解を伺いたい。

答 障害児教育基本計画は、関係法令などを踏まえ、障害のある子供一人ひとりが持つ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加の基盤となる、生きる力を培うという基本的な考え方に基づいて策定を進めているところである。

委員会の活動状況（十二月五日～十九日）

今回の定例会において各委員会に付託された議案を審査したほか、次の活動を行いました。

■総務委員会

△十二月十九日▽

札幌市市民情報センター（白石区）を視察しました。

■文教委員会

△十二月十二日▽

「札幌市生涯学習センター（ちえりあ）」の使用料金および使用申し込み方法の改善を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

また、「札幌市及び市民が所有する図書・資料等の収集と保管・公開を行う機能（施設）の整備に関する陳情」の再審査を行い、採択すべきものとなりました。

■環境消防委員会

△十二月十三日▽

「産業廃棄物の域内処理の推進に関する陳情」の初審査

市議会だよりの配布

今回の定例会については、「さっぽろ市議会だよりの最新号」に詳しい内容を掲載しています。市役所、区役所、連絡所、地下街ふれあい広場などで配布していますので、ご覧ください。

を行い、継続審査としました。

■厚生委員会

△十二月五日▽

「働くことと子育てが両立できる学童保育の公的拡充を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

△十二月十三日▽

「（仮称）札幌国際健康科学大学院開設を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。

次回の定例会について

平成十五年第一回定例会は、十二月十二日（水）から三月五日（水）までの会期二十一日間で開かれ、各会派の代表質問は二月十七日（月）から三日間行われる予定です。